

～ 中荘地区の将来像・将来の姿の 「キャッチフレーズ」を考える ～

■第2回中荘地区まちづくり協議会ワークショップ開催

各大字から選出された委員をもって、第2回中荘地区まちづくり協議会ワークショップが平成28年11月17日（木）午後7時から宮滝河川交流センターで開催されました。

- － 次 第 －
1. 開会
南阪本中荘区長会長挨拶
奥出吉野町総合政策課長挨拶
 2. 吉野町政側紹介
 3. アンケート調査のまとめ報告
 4. キャッチフレーズ（うたい文句）を考える
 5. キャッチフレーズの結果発表
 6. 宮滝遺跡整備についての報告
 7. 閉会

〈 全体会議の様相 〉



〈 アンケート調査結果の報告 〉



南阪本区長会長及び奥出町総合政策課長挨拶のあと、吉野町側の出席者が紹介され、次に、山本宮滝自治会長から、各委員より事前に提出された「◎中荘地区の現状、 ◎どうすればい

↑いか」というアンケート結果に基づき次の7分類に整理された報告がなされました。

1. 農業（耕作、放棄、商品開発）
2. 自然、環境、歴史文化（観光）
3. 産業、雇用、企業、仕事
4. 人口問題（移住、定住、空き家の活用）
5. 暮らし（防災、交通、危険な空き家）
6. 健康、医療、福祉
7. その他

その後、中荘地区の将来像、将来の姿の「キャッチフレーズ」について4班に分かれて検討しました。全体集会に於いて各班より下記の提案が発表され、これに基づいて次回の協議会までに事務局でキャッチフレーズを取りまとめる事となりました。

- A班：自然豊かな万葉の里 ～歴史と遺跡の町“中荘”～
C班：いにしへの女性が愛した郷“中荘” ～自然を守り、心豊かに住める町～
B班とD班についてはまとまらず。例えば、万葉のふる里中荘、山・川の自然と歴史を生かす中荘、遺跡と自然の……等

何に決まるかは、乞うご期待！

最後に、宮滝遺跡の整備状況を町教育委員会池田主幹からの報告後、閉会しました。

〈 各班でキャッチフレーズの検討 〉

